

経営比較分析表（平成29年度決算）

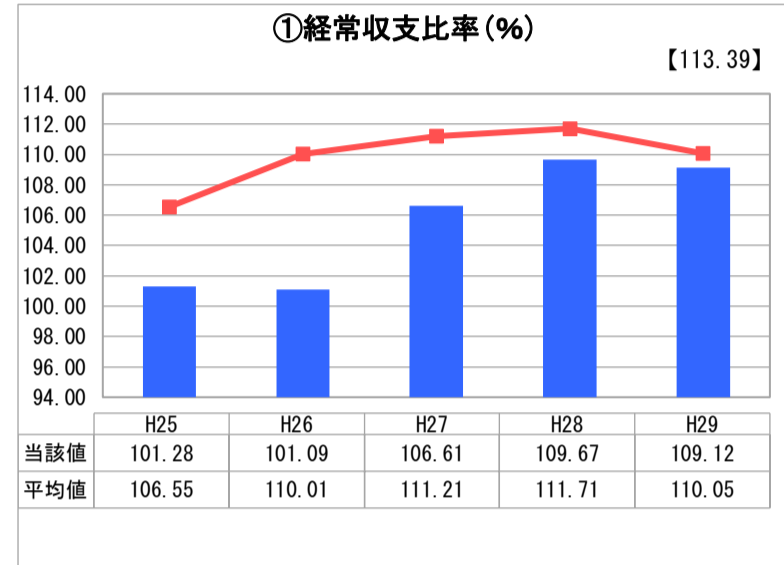
福井県 あわら市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	51.79	89.60	2,862	

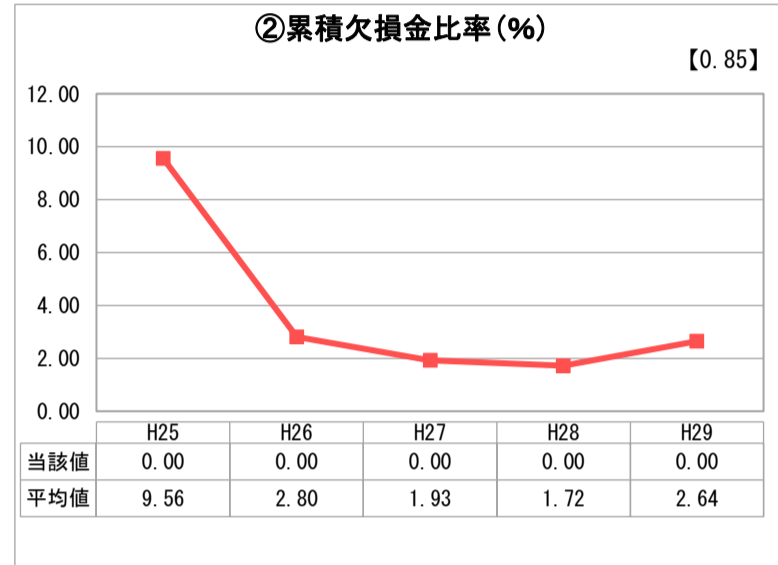
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,564	116.98	244.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
25,465	52.97	480.74

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

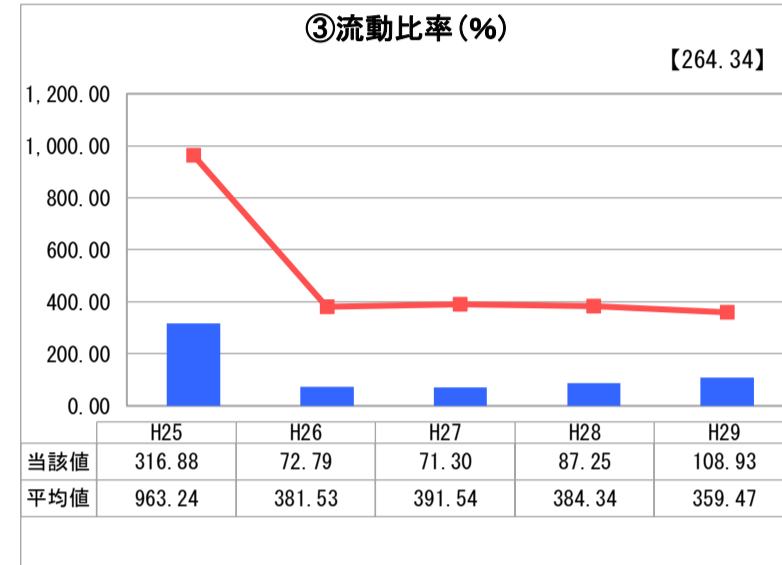
1. 経営の健全性・効率性



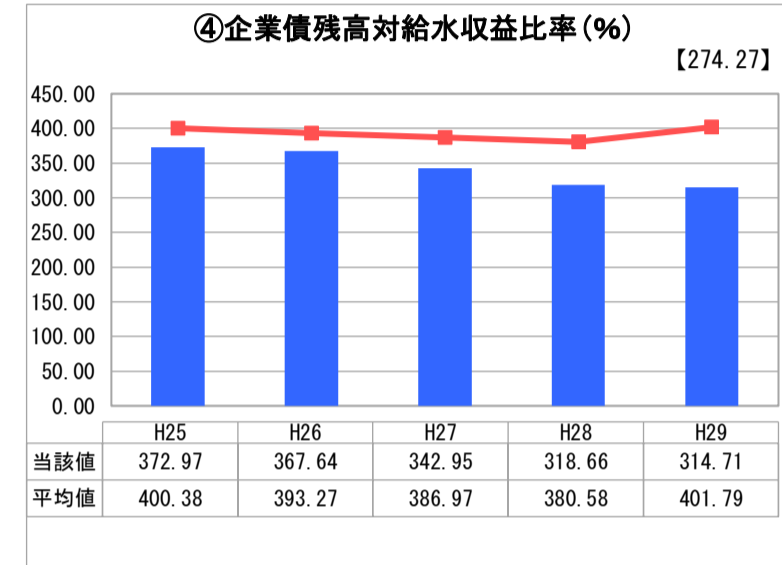
「経常損益」



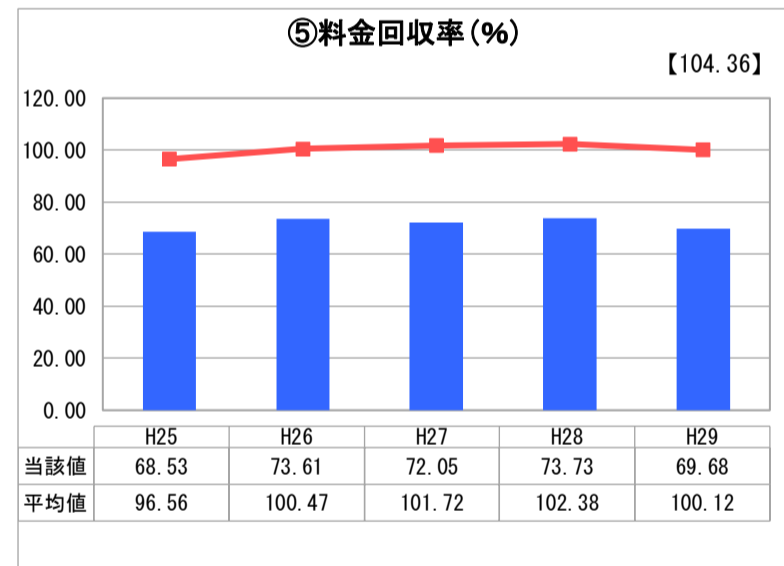
「累積欠損」



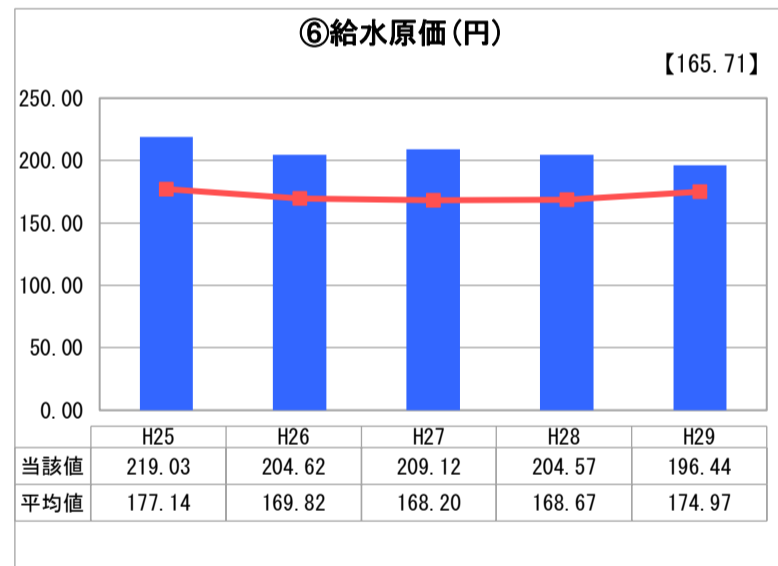
「支払能力」



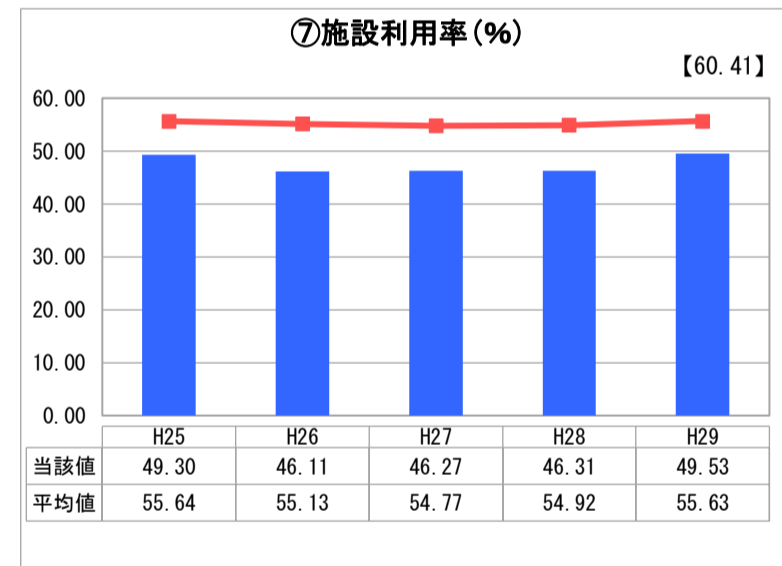
「債務残高」



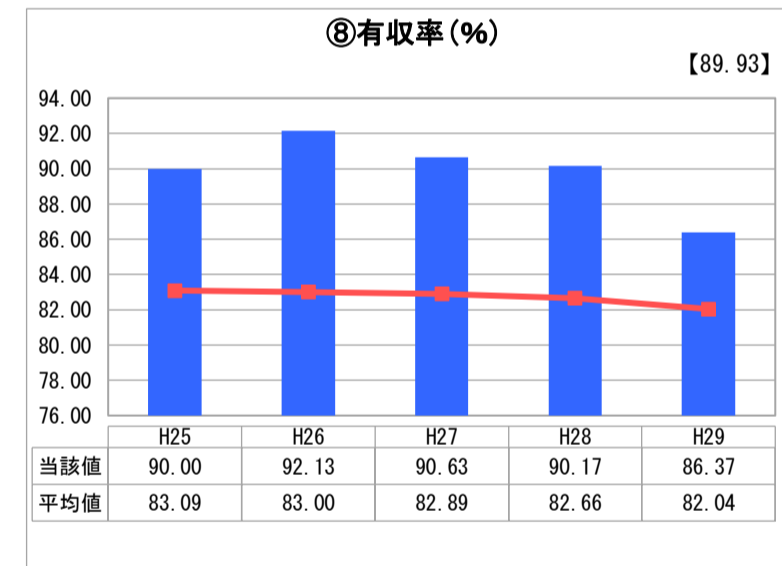
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

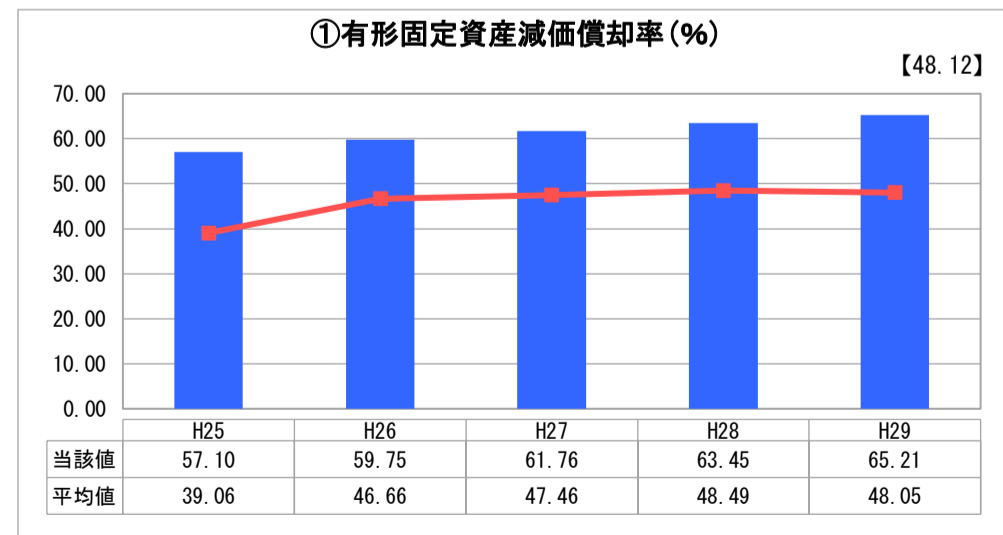


「施設の効率性」

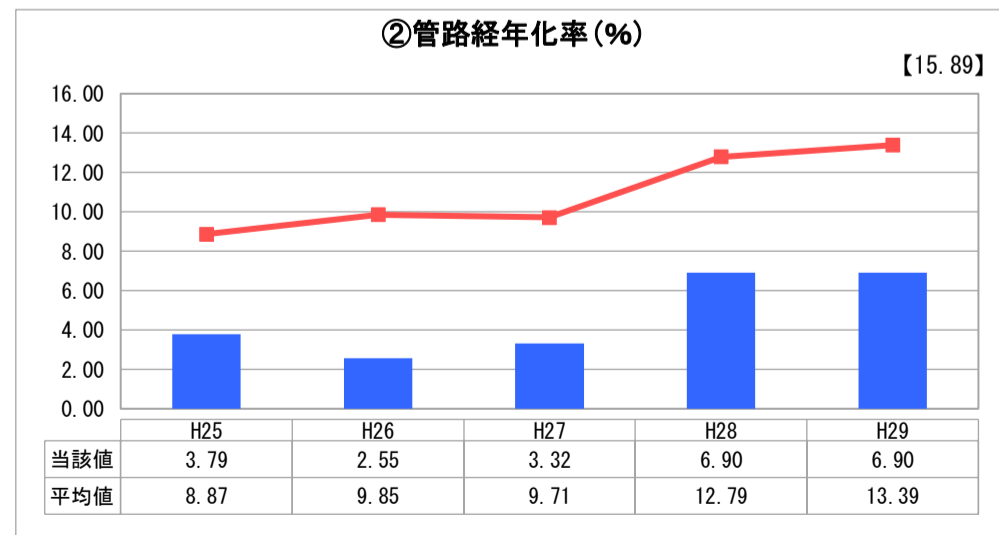


「供給した配水量の効率性」

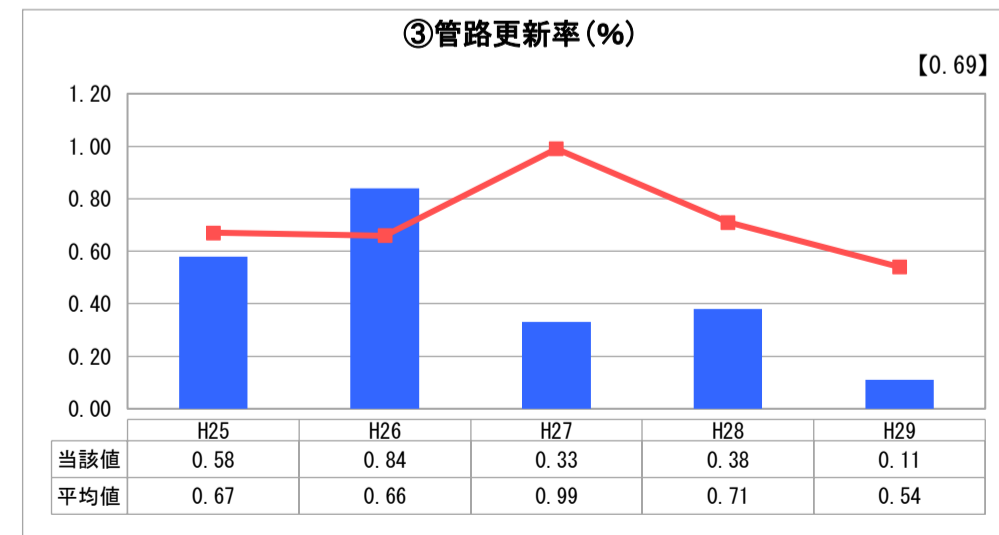
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、類似団体と比較すると低く推移している。これは、給水収益の減少や芦原温泉街を芦原温泉上水道財産区が水道経営を実施しているという構造上の問題等により、経常的な赤字となっている。なお、赤字分については、一般会計からの補助金により収支の均衡を図っている。
 ② 累積欠損金は、発生していない。
 ③ 流動比率は、類似団体と比較すると低く推移している。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較すると低く推移している。
 ⑤ 料金回収率は、類似団体と比較すると低く推移している。
 ⑥ 給水原価は、類似団体と比較すると高く推移している。これは、水源の大部分を占める県水の契約水量が配水量を大きく上回っているため、給水原価を押し上げている。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体と比較すると低く推移している。給水人口の減少が要因と考えられる。
 ⑧ 有収率は、類似団体と比較すると高く推移している。これは、老朽管の更新により改善傾向にある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、昭和50～60年代の水道事業拡張期に整備された資産が多いため、類似団体と比較すると高く推移している。
 ② 管路経年化率は、類似団体と比較すると低く推移しているが、今後、台帳資産の経年化が加速的に進んでいく中、更新率が追い付かず、増加傾向で推移していくものと考えられる。
 ③ 管路更新率は、類似団体と比較すると低く推移している。これは、下水道事業と並行しながら管路の更新を進めてきたことが要因となっている。

全体総括

水道事業の主要な収入である給水収益は、給水人口の減少、節水型給水装置の普及等により年々減少しているため、不足する分を一般会計からの補助金により賄われている状況である。こうした中、県水道事業の契約水量の見直し、近隣自治体との広域化、料金改定等、抜本的な改革が必要である。
 また、あわら市水道事業基本計画に基づき、計画的にかつ適正規模の施設に更新していく必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。